



CAM通信 創刊号

2025年7月 気候市民会議まつもと実行委員会

気候市民会議まつもと実行委員会は、2024年9月から2025年1月まで計6回の気候市民会議まつもと（以下、CAM)を開催し参加した市民の皆さんが考えた市民アクションプランを取りまとめました。この通信を通じて、アクションプランやCAMのその後の動きや役立つ情報を皆さんと共有していきます。



「ゼロカーボン市民アクションプランinまつもと」概要版は[こちら](#)

1. CAM通信の発行

CAMでの大きな学びの一つは、信頼できる情報を多くの人と共有することの重要性でした。プランをアクションへとつないでいくために、この通信を活用したいと考えています。今後、年に4回のペースで発行する予定です。皆さんからの情報もお待ちします。

2. 市長への提言以降の動き

松本市役所の中でゼロカーボン政策全体の検討を行っていく「ゼロカーボン推進本部会議」で、本部長である市長から「ゼロカーボン市民アクションプランを政策の中軸に据える」という指示がありました。これをうけて、市の全部局が、気候変動と各部局の所管事業との関連性について考え紐づけること、アクションプランと各部局の所管事業と関連付けて業務にあたるよう実践していくこととなりました。

3. 住まいのゼロカーボン推進補助金

これまで「松本市住宅用温暖化対策設備設置補助金」（省エネリフォームの補助金）としてご利用いただいていた補助金が令和7年4月1日より名称を改め、「松本市住まいのゼロカーボン推進補助金」としてリニューアルしました！

太陽光、蓄電池、電気自動車、V2Hの補助額が倍増となり、新築への太陽光、蓄電池、電気自動車、V2Hなどの設置（導入）への補助が新たに追加されました。

補助金を活用し、地球と家計にやさしい、エコな暮らしを手に入れましょう。

4. 気候わかもの会議まつもと（Y-CAM）の紹介記事

CAMでは信大生を中心に組織した「気候わかもの会議まつもと（Y-CAM)」が活躍しました。どのようなメンバーが、どんな活躍を見せたのか、CAMでスタッフを務めた渡辺勉さんがレポートしています。ぜひご覧ください。

Y-CAMについてのレポートは[こちら](#)



5. 気候町民会議

気候市民会議は県内でさらなる広がりを見せました。この5月から6月にかけて、箕輪町で「気候町民会議inみのわ」が開催されました。CAM実行委員長の茅野恒秀さんが統括ファシリテーターとなり、信州大学グリーン社会協創機構が全面協力して、参加者から様々な気づき、意見やアイデアを引き出しました。7月13日の地球・環境・未来フェスで町長と町民に向けて成果を発表する予定です。

発行 気候市民会議まつもと実行委員会